

会津北嶺高校 歴史ウォークラリーを5月2日に開催

会津北嶺高校（石山裕

司学校長）では、5月2日に歴史ウォークラリー（遠足）を開催した。

同校では例年春の遠足として、史跡や遺跡をめぐり会津の歴史や文化を学ぶことを目的として「歴史ウォークラリー」を

行っている。

本年度は「松平容保公墓地を忍ぶコース」を巡った。そして、これを機会に会津の様々な歴史に触れ、会津人として必要な教養を身につけて欲しいとの事。

なお、出発前に第21代

西蓮寺住職秋月慧様から御講話。会津松平家の歴史と院内御廟の特徴などの説明後、墓参の意義についての講話があった。さすがに名刹のご住職の講話に生徒さん達は真剣に聞いていた。そして、生徒達は有意義な楽しい日を過ごした。

「昨日の好天から小雨決行となってしまったが、生徒達は真剣に講話を聞き、そして一生懸命歩いていた。これを機会に、会津の様々な歴史を一層

学んで会津人として育ってほしい」と石山学校長。なお、前日の5月1日には、あいづ総合体育館にてスポーツフェスティバルも開催した。

春の高校野球・県大会もすでに出場を決めているとの事。

